

議会だより

<https://www.town.kawamata.lg.jp/site/gikai/>

無火災で災害のない一年を願って



1月5日 消防団出初め式

12月議会報告

(一般会計補正・議決事項)	2～5
全員協議会レポート	6～7
一般質問	8～15
町民の声	16

令和2年 **2**月1日 発行

21億1469万円

— 宅地補助の増額を強く求める —

令和元年度一般会計

133億2847万円

(15億5705万円増額補正)

台風19号被害への災害復旧 13億4777万円

農地・農林業用施設
(4億4455万円)
土木施設
(9億113万円)
文教施設
(209万円)
の災害復旧事業。



大規模な被害を受けた町道（山木屋・菅ノ又地区）

オリンピック聖火リレー関連 300万円

3月27日に通過する聖火リレーに合わせ、町をPRするイベントを実施。



ピクトリーブーケに採用されたトルコギキョウ

令和元年第7回議会定例会は、12月12日から18日までの7日間の会期で開催されました。10月の台風19号災害発生後、初の定例会で7人が一般質問に登壇し台風被害対応について質したほか、補正予算、請願、陳情などを審議しました。

※成立した一般会計予算総額は133億2847万円です。このうち災害復旧のための予算は専決補正予算（7億6692万円）と本定例会分（災害復旧費13億4777万円）をあわせると、およそ21億1469万円となりました。

しかし、その被害の大きさから、さらなる公費での支援を求める声を受け、議会でも町に強く要望しました。（61ページの全員協議会レポートをご覧ください）

※専決補正予算…議会を開く暇がない場合など、町が議会の議決を経ないで執行する予算



12月議会 定例会

台風19号被害対応に

予算の補正

●議案第112号
令和元年度一般会計補
正予算(第6号)

質問

①災害対応のため
基金(貯金)ではなく
起債(借金)するという
説明だが適切なの
か。
②道の駅の仮設店舗の周
知はしているのか。
③土木施設等で国補助の
対象にするものと単独で
やるものの振り分けは。

(高橋清美議員)

答

①借金ですが、後年
に交付税措置される有利
なものを財源として見込
みました。

(企画財政課長)

②仮設店舗オープン日程
に合わせて周知してい
きます。

(産業課長)

③大規模被害箇所を国の
補助事業としています。

(建設水道課長)

質問

法人町民税が下が
った理由をどう捉えてい
るのか。

(佐藤喜二郎議員)

答

復興事業の減少に起
因すると思われますので、
地方創生を進めていきま
す。

(企画財政課長)

人事案件

●教育委員会教育長の任
命について

現教育長の再任につい
て同意しました。なお任
期は令和元年12月23日か
ら3年間です。



佐久間裕晴氏
(鶴沢字芦ヶ作)

●教育委員会委員の任命
について

現委員の再任について
同意しました。なお任期
は令和元年12月20日から
4年間です。



後藤由美子氏
(字五百田)

●選挙管理委員会委員・
同補充員の選挙

選挙の結果、次の方が
当選しました。

選挙管理委員会委員



吉田文芳氏
(羽田字宮前)



水野隆夫氏
(字根本)



渡邊眞一氏
(鶴沢字向田)



田代愛子氏
(小島字井戸神)

同補充員

・菅野良弘氏
(山木屋字平山)

・氏家克之氏
(飯坂字上中居)

・紺野節子氏
(字新中町)

・齋藤吉晴氏
(小神字下都ノ内)

第6回議会臨時会(初議会) 11月21開催

一般会計補正予算・専決補正
(7億6692万円追加) 等を承認

台風被害対応のため、11月1日付けで町が専決補正
した予算について承認しました。





12月議会 定例会

主な条例の制定等

●議案第105号

川俣町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

【概要】公務に従事する臨時・非常勤職員の雇用を適正化、厳格化する法律の施行に合わせて条例を制定するもの。

質問

この条例で何がよくなるのか。
(高橋清美議員)

答

時間外手当、休暇制度などが正規職員に準じた内容になります。
(総務課長)

●議案第106号

川俣町森林環境譲与税基金条例

【概要】森林を適正に管理する目的の法体系に基づき、町で基金（貯金）をつくるもの。

質問

町では森林が未除染である中、どう基金を活用するのか。
(石河ルイ議員)

答

地球温暖化対策等のため森林の適正管理を目的とする施策の一環で、必要な調査事業に充てるため、先に基金をつくるものです。
(産業課長)

12月議会定例会審議結果 (令和元年12月12日～18日)

議案	件名	審議結果
第105号	川俣町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	可決（全会一致）
第106号	川俣町森林環境譲与税基金条例	可決（全会一致）
第107号	川俣町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第108号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第109号	川俣町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第110号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第111号	川俣町水道事業給水条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第112号	令和元年度川俣町一般会計補正予算（第6号）	可決（全会一致）
第113号	令和元年度川俣町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
第114号	令和元年度川俣町介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
第115号	令和元年度川俣町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第116号	令和元年度川俣町水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第117号	教育委員会教育長の任命について	同意（全会一致）
第118号	教育委員会委員の任命について	同意（全会一致）

● 12月定例会請願審査結果 ●

受理番号	付託委員会	件名	請願者住所及び氏名	紹介議員名	審査結果
4	総務産業常任委員会	令和元年台風19号による災害に伴う宅地関連災害復旧事業補助金の増額を求める請願書	川俣町小綱木字一ノ関33-3 佐久間恒司 ほか9名	高橋 清美 菅野 信一	採択

● 12月定例会陳情審査結果 ●

受理番号	付託委員会	件名	陳情者住所及び氏名	審査結果
9	総務産業常任委員会	台風被害に係るごみ撤去を求める陳情書	川俣町大字小神字吉吾34 武藤 正吉	採択
10	総務産業常任委員会	令和元年台風19号により被災した国道349号を横断する「中組沢」U型側溝等の災害復旧工事に係る工法及び構造計画の抜本的見直しに関する陳情書	川俣町大字小島字町畑8-1 小島自治会 会長 鈴木 栄一 外13団体13人	採択
11	総務産業常任委員会	看護師と介護従事者の特定最賃新設を求める陳情	福島県福島市五月町2-5 福島県医療労働組合連合会 執行委員長 高橋 勝行	採択
12	厚生文教常任委員会	古閑裕而「うた心発祥の地」碑建立の陳情書	川俣町大字鶴沢字甲森16番地の3 高野善兵衛 外45名	採択

看護師と介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書

高齢化が進む中で、医療や介護の需要はますます高まることが予測されている。しかし医療・介護の現場では、看護師や介護従事者の過重労働と人員不足が深刻化し、仕事を辞めたいと感じながら働いている職員の割合が看護師で75.2%、介護職で64.5%にも達しているとの調査報告が出されている。

介護職の賃金は、全産業労働者の平均賃金より約8万円も低く、「賃金が安い」ことが離職の大きな理由となっている。2009年度以降、国は介護職員への処遇改善策を行っているが、実際には十分な改善につながっていない。

看護師・介護士職の賃金水準が全産業平均よりも低い理由のひとつとして、同じライセンスでありながら、働く地域・施設によって初任給の格差が看護師で月額9万円、介護福祉士で月額6万円にもなるような格差があることが挙げられる。そのために、低い水準の影響を受けて全体の賃金水準が上がらず、介護職・看護職の地域偏在や離職者増につながっていることは明らかである。

福島県では「2025年度の介護職員充足率」推計が74.1%と、必要数の4分の3に届かない状況にある。

よって、国に対し、看護師・介護従事者の賃金底上げなど処遇の改善で人材を確保し、安全、安心の医療、介護体制を築くため、次のことを要望する。

- 1 医療・介護の深刻な人員不足を解消するため、看護師及び介護従事者について、全国を適用対象とした最低賃金（特定最賃）を新設し、賃金の地域間格差の解消と底上げを図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月18日

内閣総理大臣 安倍 晋三 様
財務大臣 麻生 太郎 様
厚生労働大臣 加藤 勝信 様

福島県伊達郡川俣町議会

全員協議会 レポート



現在も不通になっている町道長滝若松線

意見

- 農地等の被害に対しては箇所ごとに補助金が出るが、宅地は1箇所です算定され、不公平だ。宅地に対しても複数箇所の算定をすべきではないか。
- 町独自の施策なので、大胆な政策、高度な判断で補助金の拡充を求める。

町の回答

- 農地等は環境保全や水利など、公益的な機能があるため、複数箇所でも補助要件としている。宅地は個人の資産であり一律に議論すべきでない。
- 税金を使って、個人資産の復旧にどれくらい費やすべきか、公益的な観点からは難しい議論だ。

台風19号による 被害の概要

(一般質問回答より)

令和元年
10月11～13日発生
積算雨量300^{mm}
(時間最大40^{mm})

■避難者：最大581人

■宅地被害：全壊3箇所・浸水103箇所（床上40・床下63）
ほか土砂災害430箇所

■道路被害：301箇所

■橋梁：3箇所

■河川・水路：29箇所

■林道：75箇所

■農地：228箇所

■農道・水路：141箇所

12月議会定例で一般質問に立った全議員から台風19号被害に関連する質問が出され、また、補助金の拡充を求める内容の請願を受けたことから、宅地関連災害復旧事業補助金の強化について意見し、対応を求めました。

第23回
(12月18日)

台風被害に対する
支援策強化を求める



12月27日 議会の要望を受け補助金の見直し案を説明する佐藤町長

前回の協議を受け、町が補助金の改善案を提案し、協議しました。

第24回
(12月27日)

宅地関連災害補助金の改善案を協議

町の提案

- 宅地への補助について、被害額が100万円を超える場合は2分の1とし、上限を50万円から100万円までに引き上げる。現状の2億の予算内で対応する。
- 宅地要件は同じだが、補助額の引き上げにより複数箇所に対応できる。

意見

- 申込の締切は3月末となっているが、来年度でも対応すべき。
- 他市町村に比べて進んだ内容となり、了承する。

台風19号に対する町補助金の概要

宅地関連災害復旧事業

- 対象要件：①住宅等建物（蔵、物置、車庫を含む）
②宅地（井戸、便所、風呂の敷地を含む）、木戸道
- 補助内容：対象要件①と②の修繕に要した工事費用の合計額に対して3分の2以内・上限50万円
ただし、合計額が100万円を超える場合は、2分の1以内・上限100万円

※網かけ部分が12月27日に改正されました。

農地、農業用施設災害復旧事業

- 対象要件：①農地（耕作目的であるもの）
②農業用施設（農地利用等に必要なもの）
- 補助内容：対象要件①または②の修繕に要した工事費用等、1箇所に対して3分の2以内
上限50万円

※いずれの事業も費用の合計が2万円を超える場合。個別に対象要件の確認が必要です。

まちの課題を問う

12月議会定例会の一般質問には7人の議員が登壇しました。



作田 善輝 議員

9

台風19号の被害状況とその対応について
川俣町まち・ひと・しごと創生総合戦略について
川俣町空家対策について
川俣町の農業について



蓮沼 洋志 議員

10

台風19号による被害状況とその後の対策について
免許返納と対策について
町中の新しい賑わい創出と対策について
人口減少とその対策について



高橋 清美 議員

11

新火葬場建設の進捗状況は
道の駅整備の進捗状況は
台風19号による災害に対する対応、対策は



石河 ルイ 議員

12

台風19号の被害からの復旧、被災者の支援、救済について
学校給食無償化と幼稚園の給食実施、食材の地産地消について
国民健康保険税の引き下げと子供に課している均等割の免除を
敬老祝金の支給のあり方について



菅野 清一 議員

13

台風19号の被害状況とその対策は
原発事故避難者の生活再建は進んでいるのか
避難解除に関する確約書は守られているのか



新関 善三 議員

14

台風被害からの復旧対策について質す



山家 恵子 議員

15

天女サミットについて
防災対策について
ヘルプマークとヘルプカードについて
前田遺跡について

質問席

一

般

質

問

台風19号の被害状況、町補助金については6～7ページをご覧ください。



さく た よし てる

作田善輝 議員

台風19号被害と対応は

周知と支援に努めます

質問

- ①被害状況は。
- ②被害に対しどのように対応したのか。
- ③今後の取り組みについて。また新たな支援策は考えているのか。

町長

①※6ページをご覧ください。

②職員総出で現地確認等に当たったほか、自治会長、行政区域長に説明会、各戸に災害広報を発行するなどして周知に努めました。また、自衛隊、ボランティア、防災協定自治体等の支援を得て土砂、ごみの撤去、浸水家屋の消毒などに努めてきました。③各種支援金、見舞金、民間住宅に入居できる制度、農地、宅地復旧の補助金がありますので周知に努めます。新たな支援に

についても研究・検討してまいります。

人口減少・

定住対策の状況は

定住支援と広域連携を進めます

質問

- ①これまでの取り組みは。特に人口減少対策は。
- ②今後の展開はどうするのか、他市町村との情報交換や新たな支援事業の取り組みは考えているのか。

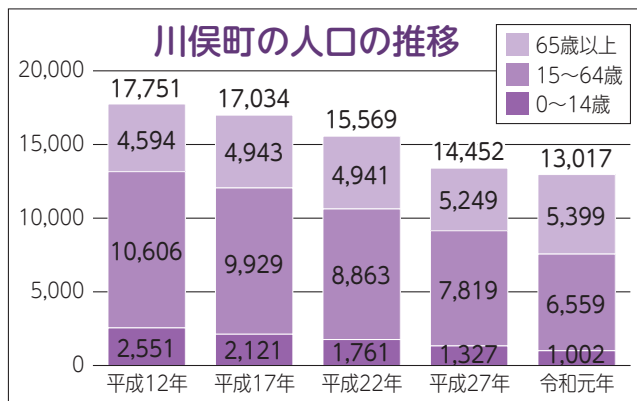
町長

①若者の出会いの場づくりのほか、結婚祝金、出

農業の現況は

若者、後継者の育成を検討中です

産祝金、入学祝金、新婚世帯定住奨励金などの経済支援、企業誘致等を行っています。②町の計画を見直すほか、広域自治体で連携し、県外からの移住希望者対象にツアアの実施等を検討しています。



質問

町長

- ①町農業の現況は。
 - ②今後の取り組みは。
- ①山木屋地区の農業が復興支援により営農再開に向かっています。
- ②若者の県外からの呼び込み、地域後継者の育成などを検討しています。

空き家対策の展開は

情報発信、連携に努めます

質問

- ①これまでの取り組みは。
- ②空き家の利活用は。
- ③空き家バンク等の発信状況は。
- ④関係団体との連携は。

町長

①計画を策定し、制度の周知、空き家バンク登録等を行っています。

②現在13件の登録があり、1件が売買されました。引き続き民間事業者等と連携し、情報発信に努めます。

④県で空家等対策のための会議、方部別の会議が設けられており、連携に努めています。

一 般 質 問

台風19号の被害状況、町補助金については6～7ページをご覧ください。



12月17日、総務産業常任委員会で小島地区被災箇所を調査

台風被害の現状と対策は

被災者支援、早期復旧に努めます



はす めま ひろ し

蓮 沼 洋 志 議員

質問

①住宅関連被災者の復興状況はどうか。また借り上げ住宅は何件利用されているのか。

②秋山芦沼田線は改良工事を進めている道路なので、改良と復旧を同時に進めることはできないか。

町長

①宅地復旧のため補助金を設けて支援しています。借り上げ住宅には現在4世帯が入居しています。
②台風被害対応を優先するため、工事を一時中止しています。工事箇所と復旧箇所が離れており困難です。

免許返納に対する支援策は

検討を進めます

質問

①サポカー購入の際に補助を出してはどうか。
②後付けで取り付ける場合助成はできないか。

子育て世帯向けの町営住宅建設は

現在は考えていません

質問

小さいお子さんを持つ家庭にとって、川俣町が住みよい環境であることを売りにするため、幼少から中学3年卒業までの間、子育て世帯が住める割安の集合住宅を準備し、その間教育資金を蓄えていただくことはどうか。

町長

町営住宅の入居率は83%で、現在も空きがあります。さらなる住宅を町が建設すると民業を圧迫することになり



子育てしやすいまちづくりを目指します
(1月17日、すくすく育児相談)

ますので建設は考えていません。さらなる子育て世帯の定住施策については、財源を確保しながら検討を進めます。

町長

①②衝突被害等を防ぐための運転補助装置の助成については、国で高齢者向けの施策を準備していますので、町でも情報収集して検討します。

※サポカー…安全運転サポート車。
衝突被害軽減ブレーキ、ペダルの踏み間違い急発進等抑制装置を搭載する車（または装置）。

まちの課題を問う

台風19号の被害状況、町補助金については6～7ページをご覧ください。



たか はし きよ み

高橋清美 議員

火葬場建設計画の進捗は

現時点では申し上げられません

質問

①基本構想策定業務委託後の進捗状況は。どこまで進んでいるのか。

②町民への説明会等は行ったのか。

町長

①道の駅改修、小学校再編、中央公民館改修などの大規模事業の予定もある中、火葬場のあり方については、財源を考慮しながら検討してきたところですが、今回の台風被害発生のため、被害者への支援や公共設備等の復旧を優先して対応しておりますので、現時点で方向性を決定できる状況にありません。②災害対応のため、現時点では説明会等には至っていません。



台風被害対応のため、計画が宙に浮いた火葬場

道の駅整備の進捗状況は

台風被害のため遅れています

質問

昨年9月定例会で、今年3月末までに完成させると答弁していたが、その後変更になり、来年3月の完成となっていたが、どこまで進んでいるのか。

町長

台風19号被害の発生に伴い、鉄骨資材等の納期に不測の事態が生じています。こ

台風19号被害の対策は

対策に努めます

質問

①小島地区が大きな被害を受けたが、27年9月からの町としての対応は。②今年9月に発行された防災マップは役に立ったのか。③被害に対する補助内容は。

町長

①広瀬川の増水による被害を防ぐため、期成同盟会を通じて改修工事の要望を重ねてきましたが、いまだ着工されていませんので、引き続き要望していきます。②平成30年度までに調査した土砂災害警戒区域等の危険箇所、最新の防災知識を紹介するもので、活用いただけたと考えます。③※7ページをご覧ください。宅地補助に関しては、平成27年災害時には2分の1だった補助率を、今回は3分の2に引き上げて補助しています。



改装中の道の駅、シルクピア

のため、当初契約の工期である3月から2か月程度遅らせる協議をしています。そのうえで速やかな竣工を目指していきます。

一般質問

台風19号の被害状況、町補助金については6～7ページをご覧ください。



国道349号道路が崩落した小島字杉田地内

被災者への救済策を示せ

減免制度等に対応します

質問

①災害見舞金の大幅増額を。

②現在も通行止めの区間の早急な改修を。

③国道349号の決壊を繰り返さないためU字側溝の拡幅など、抜本改修を。

④馬場堰をはじめ改修を進め、来春までには仮復旧を。

⑤小神のため池の復旧を。

⑥収穫したコメの被害に対する救済策を示せ。

⑦被災された方への減免制度の申請をわかりやすく周知せよ。

町長

①他事例や補助事業との関連も併せて研究します。

②大規模被害については国補助を受ける関係で1月に調査があり、それ以降、速やかに進めていきます。

③河川管理者である県に要望を行っていきます。

④広瀬川に設置してある堰の改修は県と協議しながら進めます



いし かわ

石河ルイ 議員

が、様々な検証に時間を要することをご理解ください。

⑤国の補助事業を活用するなど、復旧に努めます。

⑥収穫し出荷前の米を保管していた倉庫が被害にあった場合には、翌年の作付けを支援する目的の支援制度があります。

⑦災害広報、ホームページのほか、災害証明書を発送する際に案内文を同封するなどして周知を図っています。

学校給食に 地元産食材の活用を

来年度からの使用を 協議中です

質問

学校給食の無償化を進め、また、幼稚園の給食実施を。地元産の食材の使用を。

教育長

無償化については財源の検討を、幼稚園の給食は令和5年に予定している認定こども園の開設に向けて検討をしていきます。地元産の食材は次年度から使用できるよう協議を進めています。

国民健康保険税の 改正を

引き続き検討します

質問

国民健康保険税の引き下げ、子どもに課している均等割りの免除を。昨年からの検討の結果は。

町長

引き下げ等に対応する財源の確保や、県の保険料統一の方針上、支障をきたす懸念の課題があります。所得状況に応じた軽減を行い、なお引き続き検討します。

敬老祝金は手渡しで

口座振り込みで 対応します

質問

金融機関への振り込みになったが、高齢者とのつながりに欠けるのではないか。

町長

現金手渡しによるトラブル、件数増による民生委員の負担を考慮し、口座振り込みとしています。顔の見える訪問活動に努めます。

まちの課題を問う

台風19号の被害状況、町補助金については6～7ページをご覧ください。



かん の きよ かず

菅野 清一 議員

警戒レベル	取るべき行動	避難情報 (町が発令)	警戒レベル (気象庁が発表)
5	命を守る 最善の行動	災害発生情報	大雨特別警戒 氾濫発生情報
4	全員避難	避難勧告、 避難指示(緊急)	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報
3	高齢者等は避難	避難準備・ 高齢者等避難開始	大雨警戒(土砂災害) 氾濫警戒情報
2	避難行動の確認		大雨注意報 氾濫注意情報
1	心構えを高める		

警戒レベルは5でした

台風19号の被害状況は

質問 ①被害箇所数と被害額は。
②激甚災害指定とその内容は。被災者支援につながるのか。
③具体的な復旧計画は。
④広瀬川氾濫に対する避難は法的に適切だったのか。避難指示や避難勧告は出したのか。警戒レベルはいくらだったのか。

町長 ①※6～7ページをご覧ください。
②激甚災害指定は国が行うもので、主に公共施設等の災害復旧事業に補助率の引き上げが行われます。町が実施する農地、宅地に関する

る補助事業等は対象外で、町の単独財源となります。
③国の補助事業の査定を受けている段階で、計画を立てて実施していきます。
④「避難準備・高齢者等避難開始情報」を発令し、避難所を開設しました。避難指示、勧告は出しておりません。レベルは最高の5でした。
安全を優先した結果で、概ね正しい判断であったと考えています。

避難解除後の
実態は

実態把握に努めます

質問 ①なぜ帰還者は増えないのか。その原因は何だと思つか。復興施策に対する不信にあるのではないのか。
②帰還者の生活実態は把握しているのか。
③官民合同チームが活動しているがなぜ生業は復活しないのか。

避難解除の確約書は
守られているのか

引き続き強く求めて
まいります

質問 ①確認書についての協議機関はいつ設置されたのか。また機能しているのか。
②確約書に対する具体的回答はあったのか。

町長 ①円卓会議を設置し、住民目線で課題を整理し、国・県に要望しています。

②国、県、町と交わした確認書に基づき、住民の要求と復興政策が合致するよう強く求めてまいります。

町長 ①意向調査結果から、長期避難の結果、避難先に定着してしまった現実があると考えます。今後も目指す姿を住民に示し、行動を起こしてまいります。

②個別訪問など、関係機関連携のうえ把握に努めていきます。
③帰還者が少ないため商売が成り立たない現実があります。今後とも事業再開支援に努めます。

一般質問

台風19号の被害状況、町補助金については6～7ページをご覧ください。



たびたび広瀬川決壊の被害を受ける小島地区（関口地内）

台風被害からの復旧対策は 国県と連携して復旧に努めます



にい ぜき ぜん ぞう

新 関 善 三 議員

質問

① 4年前に発生した大雨で欠損、

決壊した箇所が同じようにに崩壊し、国道の通行止め、河川の決壊による甚大な被害が発生している。国、県との協議はどのように進めていくのか。

② 各集落の町道の復旧のため、従来の工法から変更を図る対策は。

町長

① 国道349号

線は4年前の災害と同じ箇所が被災し、鳴石トンネル内に土砂が流れるなどの被害がありましたので、根本的な解決を県に求めています。広瀬川の復旧

質問

① 土砂、がれき、大木の撤去など、個々の農家では対応しきれない箇所への対策は。

② 水路の決壊した箇所の復旧見通しと対策はどのように進めるのか。

③ ため池の復旧対策のための計画は。

町長

① 農地、農業用施設災害復旧事業費補助金を活用して、土木業者に発注してご対応いただいています。



営農再開し台風被害を受けた山木屋地区の水田

営農再開に向けた 取り組みと見通しは

早期復旧に努めます

② ③ 被害が甚大で箇所数も多いため一度に復旧できる施設や範囲などにも限りがありますので、地元の方と丁寧に協議を進めてまいりますのでご理解ください。

は、堤防のかさ上げなどで補強する工事になるという説明です。今後も竣工状況を確認しながら要望等を行っていく考えです。

② 町道のうち大規模な被害箇所は、国の補助を受け復旧する都合上、原則、原形での復旧になります。その他の箇所についても原形復旧が原則ですが、困難な場合は、工法の変更を含めて検討していきます。

まちの課題を問う

台風19号の被害状況、町補助金については6～7ページをご覧ください。



やま が けい こ

山家恵子 議員

天女サミットで町のPRを

効果を見定めて検討します

質問 第3回天女サミットに町長が参加し、2021年のサミットを川俣町で開催できないか。震災復興に支援してくれた皆様への感謝と町の復興を見ていただく交流イベントとして開催してはどうか。

町長 交流や関係人口の増加については、ターゲットとする年代、地域を選別し、また、町の観光資源を磨き上げる必要がありそうです。その選択肢の一つとして天女サミットを検討していきます。

※天女サミット：天女伝説のある鳥取県湯梨浜町ほか、川俣町など5市2町が参加するイベント。

河川の防災対策、避難所運営の改善を

見直し等を検討します

質問

①赤坂川、田代川、ふもと川の河川対策は。河川工事の予定はあるのか。

②避難所対応で不満がでないよう改善策を。

③防災マップを見直す予定はあるのか。

町長 ①大雨のたびに田代川が増水し危険であるので、管理者である県に抜本的な見直しを検討します。

ヘルプマーク・ヘルプカードの普及を

周知を図っていきます

質問

見えない障害に対する支援や配慮を周囲に知らせるヘルプマーク、また、支援してほしい情報の書かれたヘルプカードについて、周知はされているのか。

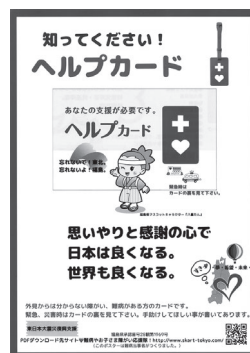
町長

昨年11月から保健福祉課窓口で配布を開始している。

②を要望しています。合流する赤坂川は町の管理ですが、現在は改修の計画はありません。今後、検討します。

③備蓄品の数量は確保されていると認識していますが、配布の仕方や避難所の対応が一律でなかったというご意見ですので、今後マニュアルを作成するなど対応を検討します。

③今回作成した防災マップは、土砂災害危険箇所を示すためのもので、浸水想定区域は示されていませんでした。今後に生かしていけるよう、実施者である県に見直しを求めていきます。



ヘルプカードのポスター

ます。役場や各公民館にポスターを貼るなどして周知していますが、さらに効果的な周知、活用等について検討します。

前田遺跡で町の活性化を

今後検討します

質問

①前田遺跡の重要性を伝えることのできる専門職員は在籍しているのか。

②発掘調査後、町としての展示活用や、アピール方法などどのように考えているのか。

教育長

①現在には不在です。

②調査及び出土品の管理は県となっており、今後、県の指導、助言を得ながら活用を図っていきます。

町民の声

私のひと言



議会に 望むこと

山木屋
広野隆俊さん

避難中は議会の皆様方をはじめ町民の皆様方へは大変お世話になりました。

私は避難解除と共に山木屋に戻り生活をしております。避難解除当時は360人余りが戻り、その後農道や町道が整備され巨額の復興事業が進められてきたため戻る人が増えるだろうと期待していたが増えるどころか亡くなる方が多く減少傾向にありとても残念です。帰還者も老人ばかりで若い人は働く場所もないことから帰還しません。

山木屋の未来を担う人たちが帰ってこないで自治会も公民館活動も容易ではありません。町中でも大型飲食店の閉鎖、小学校の統廃合などが議論され、昨年の台風19号の大規模被害の復旧事業など町は大変な時期を迎えています。

そんな中、昨年11月には議会の改選があり、いま何処でも議員さんのなり手がない時代に5人もの新人議員さんが誕生しました。大いに期待したいと思ひます。議員どうし真剣に勉強していただいて大いに議論をかわしお互い切磋琢磨され町のため、私たち町民のため活躍してください。

私はもう後期高齢者のため力はありませんができるだけ行政には協力したいと思っています。避難解除後の山木屋の現状についてももっと関心を持っていただいて力を入れていただければと思っています。

栄えある表彰

全国町村議会議長会創立70周年記念表彰

長年の功績により、前議員のお二人が表彰されました。



遠藤宗弘前議員、石河清前議員

議会の取り組み

WEBでご覧ください

議会の本会議、予算決算常任委員会の各議員の発言をインターネットホームページで公開しています。

- 議会中継 録画のほか会期中はライブ配信
- 会議録 発言のほか議員名でも検索できます

議会中継はスマートフォンでもご覧いただけます。
携帯のカメラで、QRコードを読みとり、ページを開いてご覧ください。



編集後記

あけましておめでとうございませう。昨年は台風19号が全町に甚大な被害をもたらしました。今年は復旧・復興に、町と議会が一丸となつて取り組んでまいります。

昨年11月の町議会議員選挙では、新人5人の方を含めた新体制となり、12月議会定例会において、新人議員の皆さんも積極的に町政の問題について質しました。議会各常任委員会も新体制となり、広報編集常任委員会も新たな顔ぶれとなりました。メンバー一同、川俣町の発展に取り組む議会活動の姿を、町民の皆さんにわかりやすく、読んでいただける議会だよりの編集に取り組んでまいります。

(村上源吉)

◇広報編集常任委員会

議長 高橋道也
委員 村上吉也
委員 佐野清一
委員 佐藤喜三
委員 山田善輝
委員 山家恵子